

感染症の流行・発生状況について
2023年第39週(9月25日～10月1日) 診断分

● 2023年第39週の警報・注意報

警報	注意報
咽頭結膜熱(沖縄県、北部、中部、那覇市、南部保健所管内) インフルエンザ(那覇市、八重山保健所管内)	インフルエンザ(県内全域)

● 2023年第39週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

《五類感染症》 急性脳炎 1件 梅毒 2件

● ヒトメタニューモウイルス感染症について

昨年度、南部保健所管内において、乳幼児を中心にヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症に伴う急性細気管支炎が認められており、人工呼吸器を必要とする重症例も認められました。hMPV感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、法)で規定される1～5類感染症ではないため、沖縄県における流行の実態が把握できておらず、流行状況の把握目的にて、南部保健所では法第15条第1項に基づき、昨年度7月から積極的疫学調査を実施したところ
です。
本年度においても、南部管内8小児科定点の協力の下、ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症の流行をいち早く感知するため、引き続き積極的疫学調査を実施しています。
他の感染症とあわせて、以下の一覧表で還元していますので、ご参考にさせていただきます。

● 咽頭結膜熱患者の流行状況について

現在、本県では咽頭結膜熱患者が増加しています。
感染症発生動向調査による咽頭結膜熱の患者報告数は、令和5年第38週(9月18～24日)に、定点当たり3.61人(定点医療機関31カ所、報告数112人)となり、警報発令基準値の3.00人を超えましたので、警報を発令します。沖縄県での警報発令は平成11年(1999年)に「感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)」が施行されて以降、初めてとなります。

※定点医療機関とは、インフルエンザなど18の感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	36週	37週	38週	39週	39週	36週	37週	38週	39週	39週
		9/4	9/11	9/18	9/25	(定点あたり報告数)	9/4	9/11	9/18	9/25	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	725	1126	1213	1400	(25.93)	170	241	265	272	(19.43)
咽頭結膜熱	小児科	82	81	112	139	(4.48)	21	31	60	40	(5.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	56	71	48	61	(1.97)	17	25	17	21	(2.63)
感染性胃腸炎	小児科	57	64	50	59	(1.90)	25	23	14	19	(2.38)
水痘	小児科	2	1	2	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
手足口病	小児科	17	36	24	43	(1.39)	4	10	3	18	(2.25)
伝染性紅斑	小児科	0	2	0	0	(0.00)	0	2	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	6	10	8	8	(0.26)	1	3	0	1	(0.13)
ヘルパンギーナ	小児科	17	18	13	5	(0.16)	5	11	8	4	(0.50)
流行性耳下腺炎	小児科	0	1	4	1	(0.03)	0	0	1	1	(0.13)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	15	20	15	29	(3.63)	12	11	7	21	(7.00)
細菌性髄膜炎	基幹	2	0	1	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	2	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	2	0	0	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	12	18	7	4	(0.13)	4	11	4	1	(0.13)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	662	630	624	517	(9.57)	196	174	213	167	(11.93)
ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症							1	1	0	2	(0.22)

警報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。